

# 平成26年度の活動報告 (平成26年4月1日から平成27年3月30日まで)

任意団体 消費者行動ネットワーク (略称 CAN)

区分 テーマ	情報提供		企画		行政・他団体との協働事業	
	情報誌「CAN」	ホームページ	シンポ、フェア、学習会等	実態調査等	行政	他団体
食とくらしの安全を守る活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>「我が家の電磁波を測ってみた。その1」(No.203号)</li> <li>8.15、時の刻み方 ― 地球市民の書棚から⑱ (No.203号)</li> <li>「食卓の幸せ」と日本国憲法 ― 地球市民の書棚から⑲ (No.204号)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報誌「CAN」記事 (No.202-204号)</li> <li>会員から提供される催し案内</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年1月17日午後、第19回1.17震災フォーラム「私たちにできる備えとは避難所研究や復興のまちづくりから考えたこと」講師北川啓介(名古屋工業大学准教授)、名古屋国際センター会議室</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>1.17震災フォーラム実行委員会に参加(構成団体12)</li> </ul>
資源と環境を守る活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本原研瑞浪超深地層研究所見学会「核のゴミをどうするか? 300mの地底に降りてみました。」(No.202号)</li> <li>第18回1.17震災フォーラム「東海地方に迫りくる巨大地震に備える」(No.202号)</li> <li>設楽ダム連続公開講座「第9回とよがわ流域県民セミナー」(No.202号)</li> <li>設楽ダム連続公開講座「第10回とよがわ流域県民セミナー」(No.202号)</li> <li>「時代錯誤」のリニア新幹線 ― 地球市民の書棚から⑰ (No.202号)</li> <li>リニア新幹線は、このままでは「負の遺産」になる (No.203号)</li> <li>「伊那谷夏の体験交流企画」でリニア新幹線問題を考えた (No.203号)</li> <li>2014 名古屋市消費生活フェア報告「歩く人にやさしい街」(No.204号)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報誌「CAN」記事 (No.202-204号)</li> <li>会員から提供される催し案内</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年6月22日午後、懇談会「リニア新幹線について語り合う会」を開催。問題提起「リニア新幹線の開発の経緯と諸問題」助言者柘植新(名古屋大学名誉教授)生協生活文化会館3階会議室1&amp;2</li> <li>平成26年7月5日夜、学習会「伊那谷夏の体験交流企画」でリニア新幹線に関する環境アセスメントについて学習。講師宇佐美大司(中部の環境を考える会、元名城大学教授)</li> <li>平成26年11月1日&amp;2日名古屋市消費生活フェア2014にブース出展。テーマ「歩く人にやさしい街 コンパクトシティを一緒に創りましょう」オアシス21 銀河の広場</li> <li>平成27年3月15日反原発ナゴヤアクションに3.11を明日につなげる実行委員会として合流参加</li> <li>3.11を明日につなげる実行委員会として子どもブース等を出展</li> <li>平成27年3月22日午後、学習会「電磁波ってなあに!?知っておきたい電磁波のいろは&amp;リニア新幹線と電磁波」講師外山孝司(CAN事務局長)、生協生活文化会館3階会議室1&amp;2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年7月5日「伊那谷夏の体験交流企画」で地元の地質学者松島信幸さんに案内していただき、大鹿村のリニア新幹線工事予定地を視察</li> <li>また、7月6日午前、長野県山岳ガイドの知久平彰さんの案内で、夏の山里の楽しみ方教室として、飯島町アグリネーチャー周辺を散策し、中央アルプスの尾根筋の麓の地形について視察</li> <li>平成26年9月13日午後、長野県山岳ガイドの知久平彰さんの案内で、秋の山里の楽しみ方教室として、飯島町アグリネーチャー周辺の樹木・草花について視察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>名古屋市消費生活フェア2014開催委員会に参加(構成団体12団)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さよなら原発in愛知3.11を明日につなげる実行委員会に参加(構成団体10+個人)</li> <li>「伊那谷夏の体験交流企画」を中部の環境を考える会、NPO法人グランドワーク東海と共催</li> </ul>
消費者の権利を確立する活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>第24回総会記念講演「森島昭夫さん 自らの人生を語る」(No.203号)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報誌「CAN」記事 (No.202-204号)</li> <li>会員から提供される催し案内</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年5月31日CAN第24回総会記念講演「森島昭夫さん 自らの人生を語る」講師森島昭夫、生協生活文化会館2階ルーム2&amp;3</li> </ul>			
その他(協同組合、ボランティア活動、人権etc.)	<ul style="list-style-type: none"> <li>東海道五十三次を歩いて大磯から国府津へ「賀川豊彦の島崎藤村との出会い」(No.202号)</li> <li>「花子とアン そして、賀川豊彦と賀川雫」(No.203号)</li> <li>年頭挨拶「アベノミクスに日本の明日を託せるか」(No.204号)</li> <li>年頭挨拶「いろいろな問題について一緒に考える一年にしましょう」(No.204号)</li> <li>村と町の暮らしと文化を結ぶ秋の体験交流企画 (No.204号)</li> <li>村と町の暮らしと文化を結ぶ秋の体験交流企画に参加して (No.204号)</li> <li>「賀川豊彦と御殿場 その1」(No.204号)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報誌「CAN」記事 (No.202-204号)</li> <li>会員から提供される催し案内</li> <li>CAN 総会資料</li> <li>CAN ホームページ運営要綱</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年5月31日CAN第24回総会、生協生活文化会館2階ルーム2&amp;3</li> <li>平成26年9月13日夜、「村と町の暮らしと文化を結ぶ秋の体験交流企画」で、チェーホフ原作・下村正夫脚色「結末のない話」を底本にした一幕劇「人を喰った話」を上演</li> <li>飯島町の地元のみなさんと一緒に鑑賞会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年9月13日午後、「村と町の暮らしと文化を結ぶ秋の体験交流企画」で、国旗に一礼しない中川村村長菅我逸郎さんのお話を聞く会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>「村と町の暮らしと文化を結ぶ秋の体験交流企画」をグループ結と共催</li> </ul>